

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年4月22日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年4月22日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【6号機 非常用ガス処理系排気筒放出管理における全αおよび全β放射能の測定未実施について】 6号機 非常用ガス処理系の定例試験等により運転確認があった場合、放出管理として全α、全βおよび主要γ線放出核種を測定することとしている。 しかしながら、3月12日から3月18日までの採取試料について、3月16日に非常用ガス処理系の定例運転試験があったが全αおよび全β放射能の測定を実施しなかった。 5・6号機 共用排気筒で採取の全αおよび全β放射能の測定結果が検出限界値未満のことから、6号機 非常用ガス処理系排気筒放出の測定結果についても、検出限界値未満と評価。 今後、詳細原因を調査し、再発防止対策を検討。</p>	G II	4月17日
2	<p>【5号機 計装用空気系除湿装置(B)「除湿塔切替不良」の警報発生について】 4月16日、5号機 計装用空気系除湿装置(B)の自動運転中に、「除湿塔切替不良」の警報が発生したため、手動にて除湿塔を切替後自動運転を再開。 4月18日に当該警報が発生し、同様に対応。 更に、4月19日に当該警報が発生し、手動にて除湿塔を切替えたが自動運転の再開出来ず。 今後、詳細原因を調査し、対策を検討。 現状、計装用空気系除湿装置(A)が運転中のため、系統に影響なし。</p>	G III	4月20日